

財団法人 広沢技術振興財団

研究課題・セミナー・調査課題名

プリント基板製造技術の統括シミュレータ開発

《申請者》

フリガナ	カ) オシレイテッド リコール テクノロジ
所属機関・団体	株式会社 Oscillated Recall Technology
職位・氏名	基板技術グループ長・堀江大輔

《研究・セミナー・調査の概要》

電子機器の小型化、高性能化によりプリント基板が微細化し、半導体分野では3次元実装 LSI を安定供給するインターポーザの製造技術が必要になっている。当社は既にプリント基板全体を高速解析しマスク形状を自動生成する双方向エッチングシミュレータを開発し、現在はメッキ槽と配線メッキ厚の変化を同時計算するメッキシミュレータを開発中である。本研究ではエッチングシミュレータを高機能化し、メッキシミュレータの完成とパルスメッキ対応の可能性を探る。エッチングとメッキの両シミュレータを組み合わせる事で最新の基板製造技術に幅広く対応する。また大学、研究機関、民間企業との連携を強化し、設計部門での活用による DFM フローの効率化、製造品質が人的質に影響されない技術インフラの実現を目指す。これによりプリント基板、LSI 製造の国内・海外展開がスムーズに行われ、携帯機器が牽引する市場の発展、派生展開を永くサポートできる。